

● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）10 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

キラウエア（Kilauea） アメリカ合衆国（図中 A） 標高 1222m

今年 6 月 27 日以降、キラウエアのプウ・オオ火口の北東山腹から溶岩の流出が続いている。溶岩流は、北東方向の居住地域に向けて流下し続けており、10 月 28 日にはパホアの町の居住地に達した。この影響により、パホアでは学校や一部の道路が閉鎖された。

シナブン（Sinabung） インドネシア（図中 B） 標高 2460m

10 月の期間を通して噴火が繰り返し発生し、10 月 5 日、6 日及び 26 日には火砕流の発生が確認された。その内、10 月 5 日には複数回の火砕流が発生し、2.5～4.5km 南側へ流下した。

インドネシア国家防災庁によると、10 月 27 日現在、3,284 人（1,018 世帯）が避難所に滞在している。

トゥリアルバ（Turrialba） コスタリカ（図中 C） 標高 3340m

9 月下旬に地震が増加し始め、10 月中旬には火山構造性地震の多発が記録された。10 月 28～29 日には、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 2,000 トン（9 月の平均値は 1 日あたり 1,300 トン）に増加した。10 月 29 日 23 時 10 分に西火口から小規模なマグマ水蒸気爆発が発生し、約 25 分間継続した後、強い爆発と共に噴火が終了した。火山灰は海拔 5.8km まで上昇し、首都サンホセのほか多くの町で降灰があった。この噴火により 11 人が一時的に避難しており、複数の学校が一時的に閉鎖された。

その後、10 月 30～31 日の間も噴火活動は継続した。

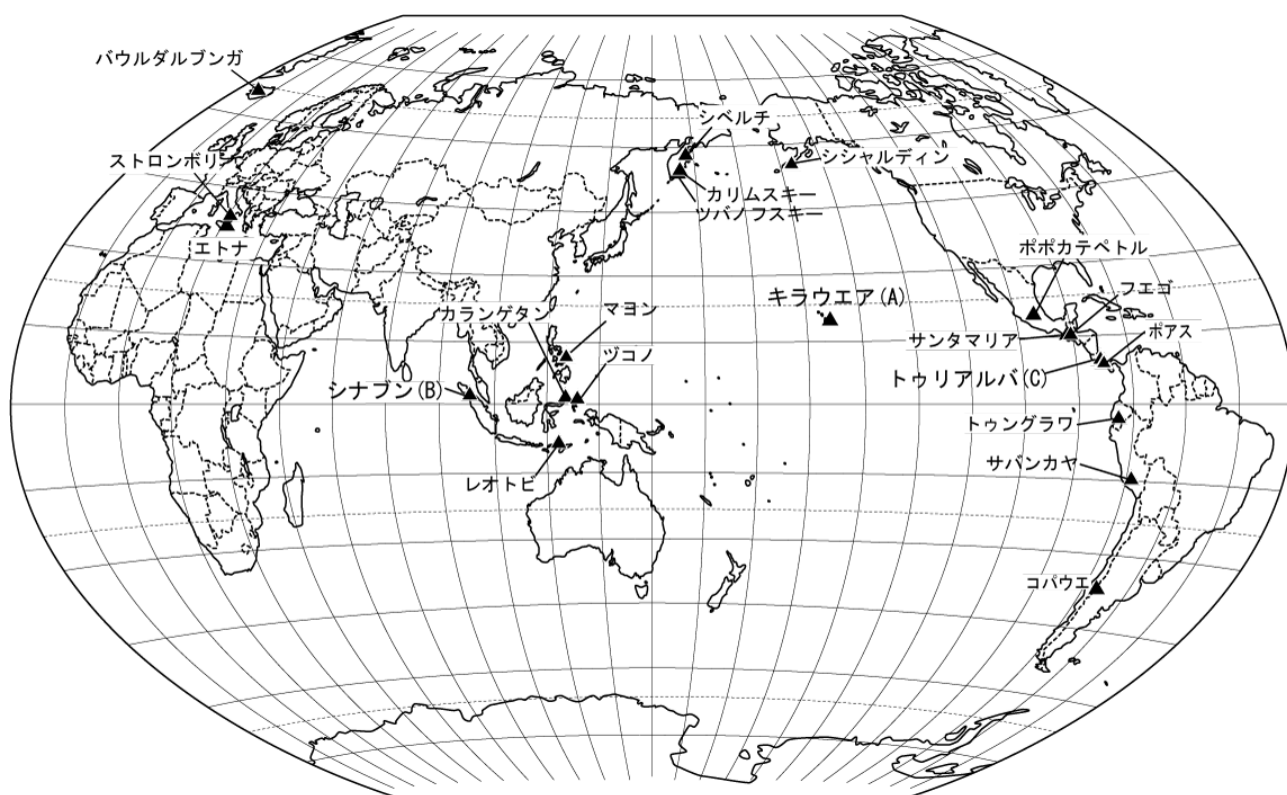


図 平成 26 年（2014 年）10 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。